

1. 業務品質監査（平成18年4月～平成18年9月実施分）

監査対象部門	監査実施期間	監査結果	
		監査概要	指摘・要望事項 等
広報部 企画広報グループ	H18.4.26～5.17	監査対象業務として「プレス・トラブル等対応業務」（発電所で発生した不適合事象等について自治体及び報道関係者等へプレス並びに不適合事象等の説明を行う業務）について確認するとともに、あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。	【指摘事項】なし 【要望事項】 「通報連絡」目標30分の起点を明確にすること。 【良好事例】 業務計画に対する個人レベルでのミッションの策定検討会の実施
所長付	H18.5.23～5.24	監査対象業務として「ミッション展開関連業務」（業務において達成すべき課題を発掘、目標、計画を設定し、進捗状況の管理を行うミッション展開の発電所としての総括管理業務）について確認するとともに、あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。	【指摘事項】 共通ルール教育を実施していなかった。 【要望事項】 業務計画所長ヒアリングの記録を作成すること。 PI, 品質目標以外のミッションの進捗状況・実績を所長に報告すること。
運転管理部 燃料グループ	H18.5.11～5.31	監査対象業務として「2F-1 第18回制御棒（ハフニウム板型）取替に伴う外観点検業務」（ハフニウム板型制御棒の外観点検を水中カメラを用いて実施し、ひび及び破損の有無を確認することにより健全性を確認する業務）について確認するとともに、あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。	【指摘事項】なし 【要望事項】 発電所大の方針に従って、燃料グループのレベル3PIを設定すること。 「業務教育(研修)計画・実績表」のチェック・アクションを適切に実施すること。 【良好事例】 当該グループが継続して取り組む品質目標（アクションプラン）の改善実施
品質・安全部 安全管理グループ	H18.6.21～6.29	監査対象業務として「プラント停止時安全措置管理関連業務」（定期検査期間中、原子炉の状態に応じて、原子炉施設の安全を維持するための必要な措置が講じられているかを管理する業務）について確認するとともに、あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。	【指摘事項】なし 【要望事項】なし 【良好事例】 定例試験見直しによる業務の効率化について
技術総括部 環境グループ	H18.7.6～7.25	監査対象業務として「放射性固体廃棄物管理業務」（発電所で発生した固体廃棄物の受入、保管、搬出における管理業務）について確認するとともに、あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。	【指摘事項】なし 【要望事項】 検討会を開催し、作業の進捗状況を確認すること。
運転管理部 放射線・化学管理グループ	H18.8.8～9.7	監査対象業務として「プラント水質管理管理業務」（原子炉をはじめとする配管、機器、燃料の健全性を維持するなどの目的で、原子炉水、給水、復水、ほう酸水他の健全性を評価・管理する業務）について確認するとともに、あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。	【指摘事項】なし 【要望事項】 1号機の水質改善のための検討内容、検討期限を明確にすること。 既に制定しているマニュアル類と関連マニュアル類との整合性を確認すること。 【良好事例】 技術力の維持向上を目的として、福島第二原子力発電所放射線・化学管理G独自にブラインドテストを実施していた。
保全部 電気機器グループ	H18.9.1～継続中	監査対象業務として「2F-4G 主変圧器取替及び同関連除却工事業務」（主変圧器を新たなものに取替るための既設主変圧器の撤去工事及び新主変圧器の据付工事を管理する業務）について確認するとともに、あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認中。	監査継続中

2. その他の監査

(1) 不適合事象管理状況監査(平成18年4月~平成18年9月実施分)

件名	監査実施期間	監査結果	
		監査概要	指摘・要望事項等
焼却設備軽油燃焼空気流量調節弁動作不良について	H18.4.19~4.26	3,4RW焼却設備調整運転において焼却設備空気予熱器着火時に、軽油燃焼空気流量調節弁が開かず「軽油燃焼空気流量低」の警報が発報後、焼却設備が停止するという不適合(H18.1.5発生)については、温度コントローラ取替を行った際に、別の機器への渡り配線を取り外したままで復旧していなかったというヒューマンエラーに起因したものであったことから、対策処置の実施状況について、監査を実施した。	【指摘事項】なし 【要望事項】 ケーブルのリフト・復旧時における工事監理を再検討すること。
RW設備1号SD受タンクB誤放出について	H18.9.19~継続中	1・2号廃棄物処理建屋において、水質分析が終了した2号機のSD受タンク(B)(非放射性)を放出すべきところ、誤って当日放出予定であり、水質分析中の1号機のSD受タンク(B)(非放射性)を放出した不適合(H18.7.12発生)については、思い込みによるヒューマンエラーに起因したものであったことから、対策処置の実施状況について、監査を実施中。	監査継続中

(2) 特別監査:対象なし

3. 平成17年度下期末、監査継続中等で監査結果が確定していなかったもの

監査対象部門/件名	監査実施期間	監査結果	
		監査概要	指摘・要望事項等
【業務品質監査】 教育管理グループ	H18.3.16~4.7	監査対象業務として「保安教育管理業務」及び「新規グループ発足に伴う業務移管状況ならびに新規業務の計画立案状況」について確認するとともに、あわせて文書管理や教育・訓練等について品質活動が実施されているかを確認した。	【指摘事項】なし 【要望事項】なし 【良好事例】 詳細な業務引継ぎの実施について

以上

2006.11.02

本書の内容を本来の目的以外に使用することや、当社の許可なくして複製・転載することはご遠慮下さい。東京電力